
ママさん人形

かつお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ママさん人形

【Nコード】

N9709G

【作者名】

かつお

【あらすじ】

造形物でありながら、自然美。無機質でありながら、生氣を感じる。矛盾が生み出す美しき人形。

妻が行方不明となつてしまった。まだ、今年で4つとなる娘は悲しみのあまり言葉を失つてしまふ。父親である僕にできることはほとんどなかった。どんなにうれしいものを用意しても、どんなにおもしろそうなおもちゃを用意しても、どんなに綺麗な洋服を用意しても、どんなに、どんなに、どんなに……。

だけど、ただ一つだけ、娘は嬉しそうな、愛しい顔をする時がある。僕が作った石膏人形。妻を模して作ったそれは、僕がこれまで作り上げた造形物の中で最高傑作だ。娘はママさん人形と呼び、その人形の傍らに寄り添っている。娘が喜んでくれるのは嬉しい。だが、この傑作を傷つけてしまわなかが心配だ。

今日もまた、娘が僕のアトリエに勝手に入ってしまった。やはり、娘はママさん人形の前に佇んでいる。前に佇んでいる？何故？いつもならば、娘は作品の横に寄り添っている筈なのに……。

そんな違和感から私は娘の前の人形に視線を走らせる。無機質であるのにその人形には魂があるかのように、不思議な温かみがある。自分で言うのもなんであるが、精巧であり、技巧をくしたというよりも、本来あるべき形に沿って作られたような……！！

「何をした……」

地の底から振り絞るような声で娘を問い詰める。人形のこめかみには、僅かな罅と、どす黒い濁りが付着している。

「何をしたと聞いている……！！」

僕は娘に怒鳴り声を浴びせかけ、見開いた眼から突き殺すかのような視線を向けている。娘は答えない。それにさらに僕は腹を立てる。何故答えないんだ。

答えない娘を相手にしても仕方がない。とにかく、人形の亀裂を補強しなければ……。

「もうここには二度と入るな」

そんな僕の一言に初めて娘は口を開く。

「・・・やだ。ママさん人形と一緒にいたい」

掠れるような、空気を僅かに震わせるような小さな声であったが、部屋の地下に位置するこのアトリエの中では充分、僕の耳に伝わった。それにしても、どうしてこんなに聞きわけがないのか・・・。気がつけば、石膏を混ぜるための少し大きめのコテを強く握り締めていた。

・
・
・

また、僕の悪い癖が出てしまった。どうにも、私は作品を作るたびに、その作品に話しかけてしまうようだ。

今回の作品は家族がテーマだ。母親と仲睦まじく寄り添う娘の人影がそこにあった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9709g/>

ママさん人形

2010年10月20日17時13分発行